

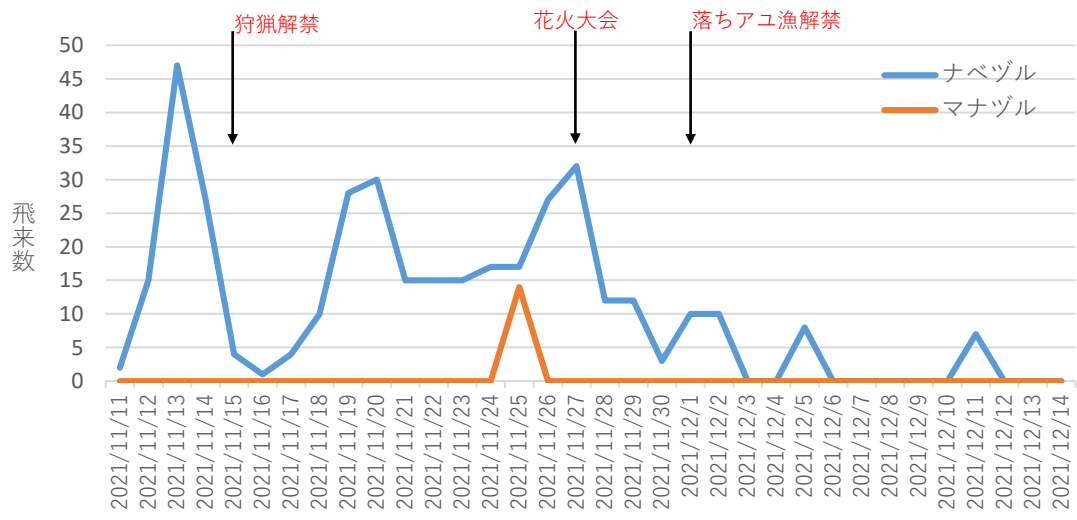
令和3年度の四万十川流域におけるツル類の飛来・生息状況

今年度のツル類の飛来・生息状況

- 今年度は、11月11日にナベヅル2羽が森沢地区へ飛来し、今期の初飛来を確認しました。今年度の初飛来は、例年に比べるとやや遅い傾向にありました。
- 11月13日にはナベヅル15羽が、江ノ村地区のねぐら環境を創出している水田に降り、その後24羽がねぐら入りしました。また、これとは別に山路で15羽、入田で8羽のナベヅルが確認され、今期最大となる47羽が確認されました。
- 11月25日にはマナヅル14羽が、中筋川左岸側の水田で確認されました。確認できたのは1日だけでした。
- ナベヅルは、12月2日まで毎日確認されていましたが、その後は12月5日、11日に確認されただけで、越冬には至りませんでした。
- 今年度の調査で、ツル類の主な採食資源として確認されたのは二番穂や落ち穂でしたが、それ以外に昆虫類を食べる様子も確認されました。
- 狩猟の発砲音、落ちアユ漁、バックホウ、ヘリコプター、マラソン等に対して強く警戒・忌避する様子が確認されました。また、今年度は花火大会があったことが例年とは異なります。
- 調査期間中、狩猟者が犬を連れている状況は確認されていませんが、散歩のときにリードをつけずに犬を水田地帯に放す人が確認されました。



空中写真:「空中写真データ」(国土地理院)(<https://cyberjapandata.gsi.go.jp>)をもとに作成



今年度のツル類の飛来状況

今年度のツル類の飛来・生息状況



11月13日に江ノ村地区にナベヅルが飛来



11月25日に江ノ村地区にマナヅルが飛来



山路地区の中州にねぐら入りするナベヅルの群れ
(11月13日17:00 撮影)



江ノ村地区で休息しているナベヅル2羽(奥の5体はデコイ)
(11月27日15:30撮影)